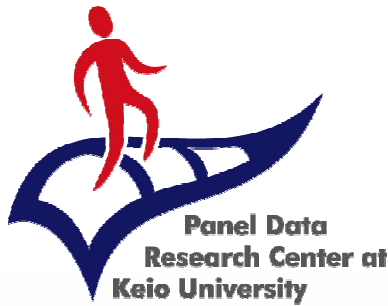




パネルデータ 解析セミナー

慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点では、主として初学者を対象としたパネルデータ分析の基礎を学ぶためのセミナーを開催いたします。
幅広い分野におけるパネルデータの公開に伴い、経済学を含む社会科学分野一般において、パネルデータを使った分析の重要性は飛躍的に増しつつあります。
本セミナーでは、統計パッケージを使ったパネルデータの基本的なハンドリングの方法と基礎的な分析方法について、受講者による演習を交えながら解説を行う予定です。

対 象

学部生、修士・博士課程在籍者・修了者、公務員、シンクタンク等研究機関研究員
(初歩的な計量分析の知識を持っている方)

日 時

2012年9月10日(月)～13日(木) 各日とも13:00～18:00
(4日間の連続セミナーとなります)

会 場

慶應義塾大学 三田キャンパス 大学院校舎

参加費

無料

定 員

60名【2012年8月23日(木) 申込締切】
※なお、締切日前に定員になった場合は募集を締め切らせていただきますので
早めのご応募をおすすめします。

お申込方法

パネル調査共同研究拠点ホームページ
(<http://www.pdrc.keio.ac.jp/>) をご覧下さい。

概 要

実際の統計データを用い演習を交えながら、分析手法・統計パッケージ(STATA)の
利用方法に関する解説を行います。
演習では、慶應義塾家計パネル調査(KHPS)の一部を本セミナー用に加工したものを
使用する予定です。具体的な内容は以下の通りです。

- ①パネルデータ分析の特徴とその実例
- ②データセットの構築(各年のデータのパネル化、変数の作成・欠損値の処理)
- ③基本的なクロスセクション分析の解説・演習
- ④パネルデータモデル(固定効果モデル・変量効果モデル)の解説・演習

【お問い合わせ先】 慶應義塾大学 パネル調査共同研究拠点
担当者: 坂本(pd-info@adst.keio.ac.jp)